

1、はじめに

みなさん、お元気ですか？ 昨日は、課題の回収の準備や対応、ありがとうございました。「もしかしたら、何にも提出できない人もたくさんいるかもね、まだ1年生だから。」と、(傷つきたくなくて)どこかで心の準備をしていた私たちですが(課題が出ないと、私たちもとても悲しい気持ちになるんだよ!)、ほとんどの人がこの1か月の頑張りを玄関に出しておいてくれて、すごくうれしい気持ちでした。さすが、7年生！大人じゃ〜ん！！ みんな、頑張ったね！ そして、イマイチ頑張れなかった人は、あと2週間頑張ろうよ！

そんな課題を回収して思ったこと2つ。ちょっと耳が痛いこともあるかもしれないけど、聞いてほしいな。

一つ目は、「何だか、イヤイヤやっているのかなと思う課題もあるな」ということです。これは、7年生としては、あまりにも物足りない！ 最もシンプルに言えば、一番気になるのは「字が汚い」ということです。私たちもプロなので、「字が下手」と「字が汚い」の違いは見たら分かります。だから、字が下手な人は、ドンマイ、全く気にしないでいい(でも、書道などの時間で少しでも上手になるように頑張っていきましょう。字が下手なのは、みなさんが思う以上に人生で度々きつい思いをするからさ)。でも、字が汚いのは残念です。だって、イヤイヤ適当にやっても、多分我々が期待するほど学習内容が身に付いていないだろうと思うから。

せっかくやるんだったら、丁寧にやることで10%くらい手間が増えてしまっても、成果が上がるようにやったほうがいいのに、と思います。例えるなら、同じコンビニのアルバイトをしても、他のバイトさんよりたった10%手を抜いたせいで、バイト仲間は時給1000円もらっているのに自分は500円しかもらえない、しかも、店長さんは自分にすごく怒ってるみたい…みたいなことですよ。損じゃないですか？ だったら、どうせきついことがあっても頑張ってるのなら、他の人と同じように、または、逆に10%プラスで頑張ってみては？ この「たった10%上乘せの努力」が、すごい効果を生みますよ！ さあ、昨日もらった新しい課題、やる気10%アップでちょっと頑張ってみませんか？

二つ目は、昨日課題を回収しに行った時に、袋の中に入れていたちょっとしたメモのことです。何人もの人が、袋の中に、「一生懸命頑張ったけど〇〇と××が終わりませんでした。これから頑張ります！」とか、「先生、課題の回収おつかれさま。次会えるのを楽しみにしています！」などのお手紙やメモが入っていました。

課題が終わらなかった人。確かに、終わらなかったことは少し残念ですが、それを正直に謝ったり、今後の頑張りを宣言できたりするのは、すごくカッコいいことだと思います。私は、中学校生活で最も身に付けておきたい能力は「コミュニケーション力」だと思っていますが、こういうメモを入れるという行為は、すごく高いコミュニケーション能力だと思います(『鬼滅の刃』なら柱ですね。コミュ柱です。言いにくいけど)。ましてや、言いにくくてこっそり逃げちゃおうと思ってしまうような内容ですからね。こういう正直さ、大事です。

そして、あたたかい言葉をわざわざ付け加えていただいた人は、もはや尊敬です。小さな紙片から、飛び回っている先生はどれだけパワーをもらえたことか！ そういうちょっとした気遣いができる人って、本当に心の豊かな、すごい人だなあとと思います。私たちも、さっそく見習いたいなあとと思います。今回はそこまでやらなかった生徒のみなさんも参考にしてみてもいいですか？

というわけで、みなさんのおかげで、1年生スタッフは今、すごく燃えて21日に向けた準備をしています。みなさんに再び会った時は、感謝を込めて最高の笑顔で迎えたいと思いますので、みなさんもまた「1日1人1万回」

のあいさつを笑顔で返してくださいね。考えているうちにちょっと待ち切れなくなってきました！

では、今日もみなさんをナイアガラの滝から落ちる水の量くらい応援しています！頑張れーっ！（ナイアガラの滝の場所が分からない人は、すぐに調べてみよう！そして、いつか行ってみて！ちっぽけな悩みが吹っ飛ばような雄大な大自然の力を感じられるから！）

2、お知らせ

- ・【重要】7日（木）に配布した理科の課題に、理科ノートの2～22をやるようにとありますが、2～17ページまでに変更です（補助教材がまだ配布されていないため）。書き直した上で頑張ってください。
- ・ちょっと間が空きましたが、またいろんな教科で動画をアップしていきます。授業内容の準備時間、動画の許される長さ、君たちの集中の持つ時間、慣れない撮影など、すごく限られた条件の中で、少しでもみなさんの学習の足しになるように準備したものばかりです。ぜひ目を通してくださいね。約束ですよ！
※本日中に、英語の動画（宿題の予習のしかた・辞書の使い方と、英文の基本的な構造について）をアップする予定です。決して簡単な内容ではありませんが、楽しみながら見てくれたらうれしいです。『知るは楽しみなり』と言いますからね！
- ・繰り返しになりますが、みなさんの「SNSの使い方」は大丈夫ですか？自分の個人情報をさらしたり、掲示板みたいなところに誰かの悪口をアップしたり、ラインなどで人を傷つけるようなことを書き込んだりしていませんか？ダメな大人のマネをして間違った安心をしないでください。あなたの発する全ての言葉は、誰かの幸せのためだけに使ってください。そして、ネット上でも「クールに」いてほしいです！分かっているとしますけどね！！

3、最近の職員室のプチ情報！

今日のテーマ：「チャンスがあったらぜひ行ってみたい県や国」

- ・今はまだ非常事態宣言が出ていて、県境をまたぐ外出さえ控えている状況ですが、今日は先生方に「ぜひ行ってみたいところ」をあげていただきます。聞いたことのない地名もあると思いますので、ぜひ地図で調べてみましょう（地図などを使って世界の勉強をするのは、社会科の「地理」という分野で学習します）。
「どこに、どんな県・国があるか」を知るだけで、人生はグッと豊かになりますよ（ニュースを見ても、クイズ番組やイッテQみたいな番組を見ても、「ああ、あそこね」と思えるわけですから）。
- ・1組担任の中瀬先生：もう一度、チャンスがあれば行ってみたい国が**“フランス”**です。GW中、いやステイホーム期間中に部屋の片づけをしていたら、フランスのガイドブックを見付け、しばらく読みふけてしまいました。観光名所がいっぱいある（今は休館中）のですが、後悔しているのは食事！日本語も英語も通じないので、びびって無難なお店ですませてしまっって・・・エスカルゴ挑戦すればよかった！！ムール貝の白ワイン煮は絶品。
- 2組担任の堀先生：**オーストリアのウィーン**に行ってみたいです。音楽の都、ウィーンでは生演奏を聴けるカフェも多くあるそうです。そこで大切な人とゆっくりとした時間を過ごしてみたい…、そんな夢を抱いています。また、シュテファン大聖堂など、日本では見られない石造りの荘厳な建物を、実際にこの目で見てみたいです。
- 3組担任の徳松先生：4000年の歴史のある**中国**に行ってみたいです。歴史が好きですが、特に三国志が好きなので、ゆかりの場所をゆっくり回ってみたいです。それ以外にも、色々な中華料理を食べてみたいです。（中華料理は4種類あるので、制覇してみたいです。ちなみに北京・広東・上海・四川です。詳しく知りたい人は調べてみてください。）

4組担任の小田先生：**アイルランド**に行きたいです。ケルトの神話や文化に興味があり、本を読みあさることもしばしば…同じ島国であるアイルランドには、日本の昔話や文化と似ているところもあって面白いです。自然やケルト文化が残る場所を観光してみたいです。

5組担任の島崎先生：NBAを観戦したいから、「**アメリカ合衆国**」に行きたい。テレビでは何度も見たことがあるけど、やっぱり生で見てみたい！！Bリーグもテレビより生で観戦したほうが絶対におもしろいですよ。中学生の時は、ロサンゼルスレイカーズと76ersの試合が見たくて、どの空港から飛行機を乗り継げばいいのかなど調べていました。おかげで地名や産業などアメリカに関することは自信がありました。

副担任の加藤先生：**北欧**に行ってみたいです。小さい頃に見たテレビ番組のムーミンからです。ああそういう所があるんだ、行ってみたい！という憧れですね。今はその頃とは随分いろいろな点で環境等も変わっていると思いますが、やはり幼い頃の想いがまだ残っています。

副担任の島田先生：ぜひ、**スペイン**に行ってみたいと思います。スペインと言えば、有名な画家のパブロ・ピカソの国です。ピカソの絵はよくわからなくても、ピカソの名前は聞いたことがあるんじゃないですか？彼は、その作品の全てが代表作というようなすごい画家ですが、その中でも有名な『ゲルニカ』は、一度生で見てみたいと思っています。それは、ソフィア王妃芸術センターという、マドリードの美術館にあります。マドリードは、サッカーでも有名ですね。

副担任の市江先生：「オーロラを見てみたい！」と思うので、「**カナダ**」か「**フィンランド**」です。いずれも高緯度で寒い国（亜寒帯）ですが、オーロラを見るためなら、苦手な寒さにも立ち向かいます！あと、カナダだったら本場のメープルシロップを味わいたいです。パンケーキにたっぷりかけて食べたいです。ちなみにカナダの国旗にある木はそのメープルシロップが取れるカエデの木なのです。

山西：行ったことのない国の中では、「**ケニアとペルー**」に行ってみたい。私は何やかんやで今まで45か国ほど行ったことがあるんですが、そんな旅の途中に出会った更なる「旅のツワモノ（100か国くらい行ったことがあるそうだ）」に聞いた、一番のお勧め国がケニアでした。大草原で、たくさんの野生動物に会ってみたいです！ペルーは、有名なマチュピチュやナスカの地上絵を見てみたい！（ちなみに、行ったことのある国の中でお勧めは、「**タイとチェコ**」ですかね。タイは、食べ物がおいしくて人が優しい微笑みの国。チェコは、しっとりとしたヨーロッパらしい古い町並みがすごくおしゃれ。）

4、Dr.中瀬がお送りする、「家でもできる簡単エクササイズ Returns（リターンズ）」！

やあみんな、久しぶり！元気かい？ みんなの健康と筋肉と命がけて我々のために働く医療関係者（保護者の方々の中にもたくさんいらっしゃいますね！）を守りたい、Dr.中瀬です。今日も、レッツ“シックスパック”！

○基本中の基本だけど、ついできなくなっている「**腹式呼吸**」について ※「**ドローイン**」とも言う。

「腹式呼吸」といえば、①風邪ひきづらい②腰痛予防③肩こり予防とメリットだらけの呼吸法ですが、意識してないとすぐ口呼吸になってしまうことありませんか？そんなあなたも休校中に1日数回（朝と夜？）行うことで、無意識に腹式呼吸ができるようになっちゃいましょう！早速、やり方についてです。

➡仰向けに寝て、両膝を立てます。右手は胸の上、左手はお腹の上に置きます。（左手が大きく動くのが○）

鼻から大きく吸います。5～10秒くらいでしょうか。お腹の皮が張るくらい吸い込みます。

そして「**口から長く吐き、吐き切ります。**」吐き切ることで、ここがポイントです。これを5回ほど繰り返します。

→鼻毛など鼻は優秀なフィルター機能が付いていますし、鼻から取り入れた新鮮な空気はすぐに脳に周り、脳内の温度を下げ、すっきりさせてくれます。マスク付けながらでもできるので、是非お試しを！

5、前にどこかでも書きましたが、基本的に、「どうして学校では○○しなければいけないのか／してはいけないのか」が説明できないことは、君たちにさせたくないなあという思いがあります（中には、「ダメなものはダメ、理屈じゃない」ということも少しはあります。それが人生というものでしょう。矛盾してるけど）。

でも、生徒みんなが納得できるいい答えのない質問もいくつかあります。例えば、「何で勉強しなくちゃいけないの？」という質問です。これに対する答えに心底納得できたら、日々の勉強は少しはラクになりますよね。でも、あんまりいい答えはない。ないわけではないんですけど、全員が「なるほど」とは言ってくれる自信がない。

しかし、下のようなお話を楽しめるのは、「ちゃんと勉強した人だけかなあ」と思います。私は、「すごくおもしろいなあ」と思うけど、みなさんはどうかな？（ついでに言うと、「払える金額は…」の問題にこういう柔軟な答えができるような子供の将来は楽しみだし、最後の「ふえると…」の解答に○をあげられるような先生でありたいなあと思います。）

チョコは何円？小2向け難問が誰にも解けない

「ガムは75円です。ガムはクッキーより40円安いそうです。チョコは何円ですか」——。小2向け算数ドリルの難問がTwitterで拡散され、多くの大人を悩ませています。チョコどこからまぎれ込んだんだよ……。

投稿主の柑橘系生卵さんが、息子さんから「ママ！意味がわからないのやけど！教えて！！」と頼まれた問題。ガムとクッキーの情報だけでチョコレートの価格を問う、算数の領域を超越したこの難問にはママもお手上げ。分からなさすぎて、投稿に写っていない範囲にチョコの情報があるのでは？といった疑問も浮かぶところですが、ページ全体を確認してみても、やはり現状以上の情報はありません。

おそらくこの問題は出題ミスで、本来はクッキーの価格を「ガムの価格+40円」と考えて答えてもらうはずが、間違えてチョコの価格を聞いてしまったということなのでしょう。それでも「ものによる」「ガムとクッキーを手がかりにチョコの相場を割り出す」「コーンフレークちゃうか」などと強引に答えを出そうとするリプライが寄せられ、一時スレッドが大喜利状態に…。

後日、先生から『宿題のドリルに間違いがあったようです』とみんなにお話があったらしい。息子さんには「ドリルの問題を作ってくれてる人も人間だから間違えることもある」と教えたそうです。算数とは別の意味で、良い勉強になったかもしれませんね。

娘の算数が鬼畜難易度 「これは難問」「非ユークリッド幾何学…」

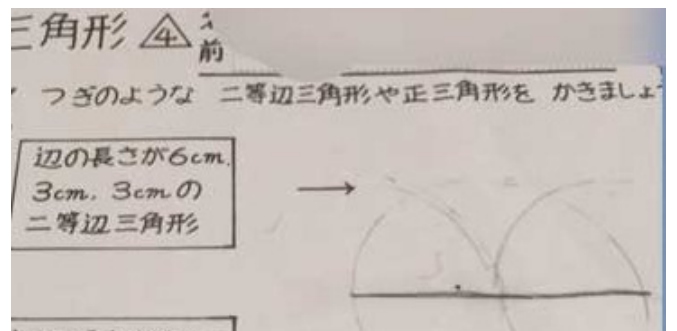
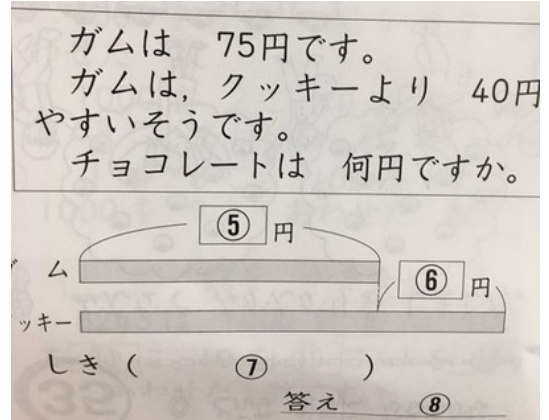
「宿題の三角形の作図がわからない」と泣く小学生の娘さんに解き方を教えてあげようとするも、予想を超えたレベルの高さに親側も頭を悩ます算数の宿題が話題になっています。

どう教えるのが正解なのか……。いろんな三角形を描く問題なのですが、その問1で求められているのは「**辺の長さが6センチ、3センチ、3センチの二等辺三角形**」。一見よくある作図問題に見えますが、あれ…？ サシシさんの娘さんは、まず底辺6センチの直線を書いて、それぞれの端からコンパスを使って3センチの円弧を描こうとしますが…交わらない…ただの直線！

問1が解けずにいつまでも悩んでいたという娘さん。なんとこの鬼畜難易度……！

気軽に「帰ったら教えてあげるよー」と返したサシシさんですが、簡単には答えを教えられない事態に。Twitterでも「俺も解けない」「三角形の定義って何？」と混乱する声上がり、さらには大学レベルの解き方を持ち出し、

「今の小学校って非ユークリッド幾何学教えてるのか…すごいな」と別の意味で驚く人が現れるなど、謎の盛り上がりが生まれています。



柔軟な発想に「その発想はなかった」回答としては正解な気がする…！

息子の答えで「！！」ってなった——。小学生向けの算数の問題で、QUO さんの息子さんが導き出した回答が Twitter で反響を呼んでいます。その問題は、

100 円玉 1 枚、50 円玉 2 枚、10 円玉 3 枚を使って支払える金額は何通りありますか。

一看すると、硬貨の数がそれぞれ示されているので「組み合わせのパターン数」を答えそうになりますが、息子さ

29. 100 円玉 1 枚、50 円玉 2 枚、10 円玉 3 枚を使って支払える金額は何通りありますか。

230円 230通り

さんの出した答えは「230 通り」。そんな多いはずが、と思って改めて問題を読むと…あれ、これはこれで間違いではない…!? 言われてみると「230 通り」だ

単純に 230 円持っていて「支払える金額」は何通りかと考えるなら、1 円～230 円までの間なら「支払える」ので、「230 通り」も間違いではないということになります。問題文に「ちょうど支払う」や「お釣りが出ないように」とは書かれていないところを突いた、柔軟な発想の結果と言えるでしょう（なお、この問題集の模範解答は「19 通り」）。

「本当にこれを正解に？」 先生の採点にほっこり、これはいい先生。

小学一年生のさんすうの答案に「頭のいい子」「いい先生」と称賛が相次いでいます。「先生、本当にこれを正解にしていんですか…柔軟すぎませんか…？」と言わしめた名答案とは。

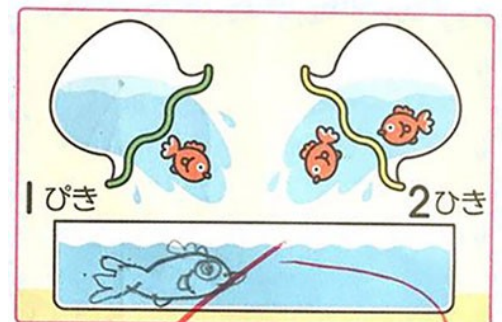
高川朋子さんが投稿したのは、次男の足し算の問題。

湖の 4 羽の鳥の元に 1 羽の鳥がやってくる絵が描かれた「ふえると なんわですか」という問題は、 $4 + \square = \square$ の空白に数字を入れることで回答が完成するというタイプ。答えは、 $4 + \square 1 = \square 5$ なのですが、次男くんは問題のイラストに鳥を 1 羽描き足して $4 + \square 2 = \square 6$ と回答。“ふえると”ってそういうこと……!?



$$4 + \boxed{2} = \boxed{6}$$

次は金魚が水槽に移される問題。1 匹と 2 匹を合わせるので、回答は $1 + \square 2 = \square 3$ となるはず。ところが次男は再び魚を 1 匹描いて $1 + \square 3 = \square 4$ と回答。



$$1 + \boxed{3} = \boxed{4}$$

恐らく「ふえると なんわですか」という問題から、1 羽 (1 匹) を自分で描き足したとみられる次男。なんと先生はこの回答を正解と判断。最終的に次男くんは 100 点をもらったのでした！ すごい！

これには母である高川さんも「『先生、本当にこれを正解にしてください…柔軟すぎませんか…?』と申し訳なく思いました」とビックリ。またリブ欄でも「多分先生も “ふふ” っとなりながら採点してる」などの意見が集まった他、次男君の絵がうまいという声も。次男くんには子どもならではの柔軟かい発想と絵心を持ち続けて欲しいですね……！

